

令和4年度学校評価を受けて（報告）

今年度の学校評価は、職員及び保護者ともに、各項目の「評価4：十分達成」「3：おおむね達成」を合わせた数値が80%を超える高い評価結果となりました。このことより、今年度の教育活動その他の学校運営については、その目標を概ね達成できていると考えることができます。昨年度の反省点を生かすとともに、新型コロナウイルスの影響による学習活動の見直しを含め、校務分掌上や学校経営上の課題について随時対応をしてきたことが、高い評価に繋がったと考えられます。

しかし、職員及び保護者から、「職員の業務改善」、「ICT活用に関する内容」、「生徒指導に関する内容」、「教育環境の整備」等について、課題があるという意見がありました。また、保護者や地域住民が学校づくりに参画する学校関係者評価委員会では、「教育環境の整備」、「地域との連携」、「学習指導」、「職員の業務改善」等について、提言をいただきました。これらのことに関しましては、校内の各学部や各係において、検討を行ったり要望を出したりしました。それらを今後の教育活動や業務に確実に引き継いで参ります。

本校では、今後も特別支援学校として、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を行い、生きる力や可能性を限りなく伸ばし、自立と社会参加に向けて心豊かに生きる児童生徒を育成するとともに、地域における特別支援教育のセンター的機能を果たすべく、現在の取り組みを継続しながら、更に充実した教育活動ができるよう取り組みます。